

2004年11月11日

各 位

会社名 宇部興産株式会社
代表者名 取締役会長兼社長 常見 和正
(コード番号4208 東証一部)
問合せ先 IR広報部長 泉原 雅人
(TEL 03-5419-6110)

子会社の吸収合併について

宇部興産株式会社(取締役会長兼社長 常見和正、以下「宇部興産」という)は、本日開催の取締役会において、グループ会社で行なっている事業の運営体制を一部見直し、2005年1月1日を期して、子会社3社を吸収合併することを決定いたしましたのでお知らせ致します。

具体的には

- (1) アルミホイール事業の再構築を、より一層強力かつ効率的に推進するため、100%子会社であるウベオートモーティブ株式会社(代表取締役社長 出口隆一、以下「UAL」という)及びUALの100%子会社である株式会社ユーモールド(代表取締役社長 岡村 稔、以下「UMD」という)を吸収合併いたします。
- (2) IPP事業(電力卸供給事業)につき、当社自家発電と一体運営を行なうことにより合理化効果を最大限追求するため、100%子会社である株式会社ユービーイーパワーセンター(代表取締役社長 吉良俊一、以下「UPC」という)を吸収合併いたします。

詳細は下記の通りですが、当社は今後ともグループ経営を最適化するため、組織体制の見直しを適宜行なう所存です。

記

1. アルミホイール事業2社の沿革と合併の目的

UMDは、1987年1月、山口県宇部市において宇部興産の100%子会社として設立されたアルミホイール製造会社です。その後宇部興産の機械・アルミホイール部門を分離・独立させた宇部興産機械(株)の設立により、同社は宇部興産機械(株)の100%子会社となりました。

更に2001年7月、宇部興産機械(株)よりアルミホイール部門を会社分割にて分離・独立させ、宇部興産の100%子会社としてUALが設立されました。

同社は日本・米国・カナダにまたがるアルミホイール事業をグローバルに束ねる統括機能と、日本における販売機能を併せ持ち、これにより、UMDはUALの100%子会社(宇部興産の孫会社)となりました。

現在、UMDにて製造するアルミホイールは全量UALにて自動車会社へ販売されています。

今回の合併の目的は下記の通りです。

- ① 生産・販売・技術の機能を一元化し、意思決定の迅速化、事業運営の効率化を図る。
- ② 本体に統合することにより事業運営の支援の強化、及び事務の合理化・効率化を図る。

2. IPP事業会社の沿革と合併の目的

UPCは、1998年2月に設立したIPP事業会社であり、山口県宇部市において195MWの石炭火力発電設備を有しています。同社は、中国電力株式会社との間の15年間にわたる卸供給契約に基づき、2004年3月より電力の卸供給を実施しています。

なお、1998年8月から日商岩井株式会社（現・双日株式会社）が30%の出資をしていましたが、2002年10月に宇部興産が日商岩井保有の全株式を買い取ったことにより、現在では宇部興産の100%子会社となっています。

一方、宇部興産は、UPC発電所に隣接して自家発電設備を有しており、宇部興産および周辺グループ会社に対し電力・蒸気の供給を行っています。

今回の合併の目的は下記の通りです。

- ①宇部興産の自家発電と一体運営を行うことにより、運転・設備管理を一元化し、経費の削減など事業運営の効率化を図る。
- ②省エネや新エネルギー（バイオマス燃料）導入など、エネルギー・環境対策の一体的推進を図る。

3. 合併の要旨

(1) 合併の日程

合併契約書承認取締役会	2004年10月26日（被合併会社：UAL）
	2004年11月5日（被合併会社：UMD）
	2004年11月10日（被合併会社：UPC）
	2004年11月11日（合併会社）
合併契約書締結	2004年11月11日（合併・被合併会社4社）
合併契約書承認株主総会	2004年11月26日（被合併会社：UAL・UMD・UPC）
合併期日	2005年1月1日（予定）
合併登記	2005年1月4日（予定）

なお、本件合併は商法第413条ノ3第1項に基づく簡易合併方式によることから、宇部興産は合併契約書承認のための株主総会は開催しません。

(2) 合併方式

宇部興産を存続会社とする吸収合併方式で、合併によりUAL、UMD、UPCは解散します。
また、宇部興産は合併に際して新株を発行せず、資本金の増加、合併交付金の交付を行いません。

4. 合併当事会社の概要

(1)商号		宇部興産株式会社 (合併会社)	ウヘオートモーティブ株式会社 (被合併会社)	株式会社ユーモールド (被合併会社)	株式会社ユービーイーパワーセンター (被合併会社)								
(2)事業内容		化学・樹脂、建設資材、機械・金属成形品、石炭、不動産等の事業	自動車用アルミホイールの販売、アルミホイール事業統括	自動車用アルミホイールの製造	電力の卸供給事業								
(3)設立年月日		1942/3/10	2001/3/15	1987/1/13	1998/2/23								
(4)本社所在地		山口県宇部市大字小串1978番地の96	山口県宇部市相生町8番1号	山口県宇部市大字藤曲2575番地の62	山口県宇部市大字小串1978番地の10								
(5)代表者		取締役会長兼社長 常見 和正	代表取締役社長 出口 隆一	代表取締役社長 岡村 稔	代表取締役社長 吉良 俊一								
(6)資本金		43,565百万円	2,805百万円	950百万円	1,500百万円								
(7)発行済株式総数		871,201,613株	23,470株	19,000株	3,270株								
(8)株主資本		85,871百万円	6,962百万円	2,223百万円	1,953百万円								
(9)総資産		435,971百万円	12,148百万円	12,996百万円	23,049百万円								
(10)決算期		3月31日	3月31日	3月31日	3月31日								
(11)従業員数		3,208名	24名	235名	9名								
(12)主要取引先		化学・樹脂製品、建設資材、機械・金属成形品、石炭などを広く国内外の需要家に販売	トヨタ、日産、マツダ、GM、ダイムラーライスター等日米主要自動車メーカー	UAL	中国電力に電力を卸供給								
(13)大株主および持株比率		日本トラスティ・サービス信託銀行 10.89% 日本マスタートラスト信託銀行 6.65% 住友生命保険 2.33% 日本生命保険 2.21% みずほコーポレート銀行 2.01%	宇部興産 100%	UAL 100%	宇部興産 100%								
(14)主要取引銀行		UFJ銀行、みずほコーポレート銀行	UFJ銀行、みずほコーポレート銀行	UFJ銀行、山口銀行、みずほコーポレート銀行	日本政策投資銀行、UFJ銀行								
(15)当事会社の関係	資本関係	①宇部興産がUALの全株式を保有、UALがUMDの全株式を保有 ②宇部興産がUPCの全株式を保有											
	人的関係	①宇部興産がUALへ役員、従業員を派遣 ②宇部興産がUPCへ役員、従業員を派遣											
	取引関係	①UALがUMD製のアルミホイールを仕入販売 ②宇部興産がUPCへ燃料石炭、副原料を供給、発電所用地を賃貸、運転業務を受託											
(16)最近3決算期間の業績		宇部興産(億円)			UAL(百万円)			UMD(百万円)			UPC(百万円)		
		2002年 3月期	2003年 3月期	2004年 3月期	2002年 3月期	2003年 3月期	2004年 3月期	2002年 3月期	2003年 3月期	2004年 3月期	2002年 3月期	2003年 3月期	2004年 3月期
	売上高	2,271	2,292	2,270	11,601	16,560	18,521	13,751	15,734	15,803	0	0	487
	営業利益	52	121	134	635	820	549	780	1,258	44	▲31	▲32	27
	経常利益	47	66	86	589	1,206	935	701	1,150	▲104	▲45	▲71	12
	当期純利益	40	40	▲90	334	780	665	394	645	▲260	▲46	▲72	▲818
	一株当り当期純利益	4.64円	4.81円	▲10.62円	14千円	33千円	28千円	20千円	33千円	▲13千円	▲14千円	▲22千円	▲250千円
	一株当り配当金	0円	3円	0円	4,772円	13,000円	0円	13,052円	16,900円	0円	0円	0円	0円
一株当り株主資本	111.53円	107.79円	98.59円	252千円	281千円	296千円	126千円	147千円	117千円	869千円	847千円	597千円	

(注) 上記数値は2004年3月31日現在のものです。

5. 合併後の状況

- (1) 商号 宇部興産株式会社
(2) 事業内容 合併による変更はありません。
(3) 本店所在地 宇部市大字小串 1978 番地の 96
(4) 代表者 取締役会長兼社長 常見 和正
(5) 資本金 435 億円 (2004 年 3 月 31 日現在。合併による増加はありません。)
(6) 総資産 合併により総資産は 270 億円増加する見込みです。
(参考 : 2004 年 3 月期末総資産 4,359 億円)
(7) 決算期 3 月 31 日
(8) 業績に与える影響

(連結) 被合併会社である UAL、UMD、UPC はいずれも当社 100% 子会社でありますので、
当社の連結業績に与える影響はありません。

(単独) 当期、翌期の業績数値は、下記の分増加する見込みです。

(当期は 2005 年 1 月 1 日～3 月 31 日までの影響額)

	当期 (2004 年度)	翌期 (2005 年度)
売上高	51 億円	187 億円
営業利益	6 億円	17 億円
経常利益	4 億円	11 億円
当期利益	2 億円	7 億円

なお、本合併により当社は抱合株式消却損約 55 億円が発生する見込みです。

これらの影響も含めた当期業績予想の修正を、別途本日付で発表しておりますので、ご参照願います。

以 上